Straumann® CARES® Scan CS2

設置マニュアル

STRAUMANN® CARES®
DIGITAL SOLUTIONS

COMMITTED TO
SIMPLY DOING MORE
FOR DENTAL PROFESSIONALS

目　次

1. はじめに

本マニュアルはStraumann® CARES® Scan CS2の設置方法を説明しています。製品を安全かつ効果的にご使用いただくために、本マニュアルをよく読んで装置について理解してください。必要な場合に備えて、本マニュアルは大切に保管してください。

製品は細心の注意を払って製造・梱包を行っています。しかし、何らかの問題がある場合は、ただちにストローマン・ジャパン株式会社（以下、当社）までご連絡ください。

本マニュアルの内容は最新の状況に対応していますが、スキャナーの仕様が予告なく変更される場合がありますのでご注意ください。

ストローマンとユーザーの関係はStraumannの基本取引条件にのみ準拠します。ストローマン製品は添付文書、および各種マニュアルに従ってご使用ください。ストローマン製品の適切な使用方法に関する詳細は、弊社担当営業までお問い合わせください。

2. 製品の使用目的

Straumann® CARES® CS2は歯科用の高精度3Dスキャナーです。クラウンからアバットメント、最大14ユニットの模型、各種歯型の3D測定に使用します。スキャナーとソフトウェアを併用することにより、模型をスキャンし、修復物（様々なマテリアルのクラウン、ブリッジ、アバットメントなど）を設計し作成したデータをプロダクションセンターに直接送信することができます。

注）

■ スキャンするマテリアルの表面は艶のない（光沢がなく反射しない）スキャン可能なものでなければなりません。

■ 表面の色のグラデーションは均一になるようにしてください。

確認事項

本マニュアルで解説するストローマン製品を安全かつ適切に使用するには、ユーザーにストローマン製品の取扱いに関する適切な知識および研修が必要です。
ストローマン製品は、製造元が提供する使用マニュアルに従って使用してください。マニュアルに従って装置を使用し、装置が個々の患者の状況に適しているかどうかを判断するのはユーザーの責任です。

ストローマン製品は、包括的な概念の一部であり、マニュアルに特に指定がない限り、Institut Staraumann AG、その最終的な親会社、および親会社のすべての関連会社ならびに子会社（以下、Straumann）によって販売されている対応する元のコンポーネントおよび機器以外とは併せて使うことができません。第三者が製造した製品の使用がマニュアルによって推奨されていない場合、そのような製品の使用は明示、黙示を問わずストローマンによる保証その他の義務は無効になります。

効力

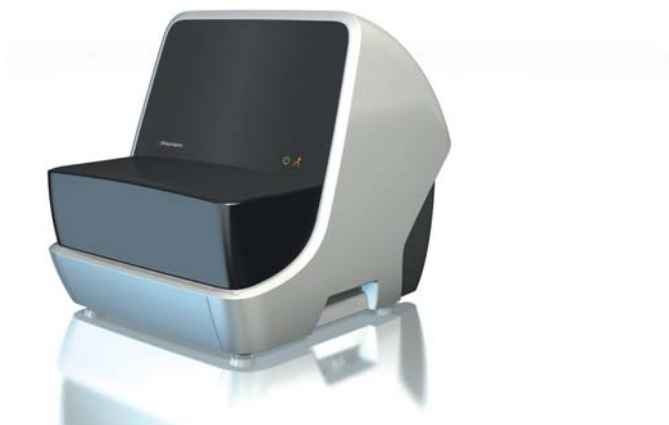
本マニュアルの発行により旧バージョンは無効になります。

3. スキャナー、コンピューター、モニター、アクセサリーキット

Straumann® CARES® CS2は損傷を防止するようデザインされた梱包箱で送られます。梱包箱に外的な損傷がないか確認してください。万が一損傷があった場合は、直ちに当社までお知らせください。時間が経過してからの苦情は受け付けをお断りする場合がありますのでご注意ください。

スキャナーを安全に輸送する場合に備えて、梱包箱は保管してください。

納品物の内容 ：
1. Straumann® CARES® CS2
2. コンピューターボックス
3. モニターボックス
4. アクセサリーキット

3.1 Straumann® CARES® CS2

仕様は予告なく変更する場合があります。

3.2 コンピューターボックス

コンピューターボックスの内容物は国によって異なります。詳細については当社までお問い合わせください。

コンピューターボックスの内容物：

■ コンピューター本体

仕様は予告なく変更する場合があります。

3.3 モニターボックス

モニターボックスの内容物は国によって異なります。詳細については当社までお問い合わせください。

モニターボックスの内容物：

■ モニター

■ モニターの信号ケーブル（DVI/VGA）

■ モニターのマニュアル

仕様は予告なく変更する場合があります。

3.4 アクセサリーキット

アクセサリーキットの内容物は国によって異なります。詳細については当社までお問い合わせください。

アクセサリーキットの内容物：
- スキャナーの電源ケーブル
- コンピューターの電源ケーブル
- モニターの電源ケーブル
- モニターケーブル
- アース付延長ケーブル（オプション）
- スキャナー/コンピューターのUSBケーブル
- コンピューターのセットアップエイドキット一式（セットアップエイドキット、パテホルダー、パテ）
- ユーザーマニュアルStraumann® CARES® Visual 6
- Straumann® CARES® Visual 7.0クイックリファレンスガイド
- Straumann® CARES® Scan設置マニュアル
- キーボード
- マウス
- ネットワークケーブル（青）長さ10m（オプション）

4. 使用上の注意

煙や焼けるような匂い、異常な騒音が発生した場合は、直ちに電源ケーブルを抜いて、当社までご連絡ください。
故障した装置の操作は危険を伴うので行わないでください。

小さい物体や液体は装置から離してください。
小さい物体が換気口からハウジング内部に入り込み、火災や感電、装置の損傷の原因になる恐れがあります。機器内部に物や液体が入った場合は、直ちに装置の電源ケーブルを抜いて当社までご連絡ください。

装置を適切な安定した場所に置いてください。
装置の損傷だけでなく、火事や感電の恐れがあります。
■ 屋外での使用は避けてください。
■ 移動車両(船、飛行機、列車、自動車など)では使用しないでください。
■ 埃や湿気の多い環境には設置しないでください。
■ 発熱する装置や加湿器の近くには置かないでください。(推奨温度:15–35°C、湿度5–60%)
■ 開梱後2時間以上放置してから電気と接続してください。

付属の電源ケーブルは各国の電圧に合わせて使用してください。電源ケーブルの公称電圧を超えないようにご注意ください。
上記に従わない場合、火災や感電の恐れがあります。

適切に設置された壁のコンセントに装置を接続してください。
上記に従わない場合、火災や感電の恐れがあります。

いつでもプラグが抜けるようコンセントの周囲には物を置かないでください。
非常時に直ちに電源ケーブルが抜けることを確認してください。

重要)
■ スキャナー背面にあるハウジングの換気口をふさがないようにしてください。
■ 換気口を書籍、書類、その他の物でふさがないようにしてください。
■ 換気の悪い狭い場所に装置を設置しないでください。
■ 換気口をふさいで換気が悪くなると、火災や損傷の恐れがありますのでご注意ください。

5. 各部の名称と機能

5.1 操作部の説明

スキャナー正面図

スキャナーの状態　　レーザーの状態

LED表示によるスキャナーとレーザーの状態

LED表示と意味：

状態	LED：スキャナー（左）	LED：レーザー（右）
スキャナーオフ	消灯	消灯
スキャナーとPCの電源オン/接続中	黄、ゆっくり点滅	消灯
接続完了/高速速USBがアクティブ	緑	消灯
スキャナースタンバイ	黄	緑
スキャナーのロード/アンロード可能（ロード位置、アンロード位置）	緑	緑
スキャン中	緑	黄、点滅
参照中	緑	黄、点滅
位置調整中	緑	黄、点滅
停止中	緑	消灯
問題発生/当社までご連絡ください	赤、点滅	赤、点滅

ポートの説明

ポートはスキャナーの背面にあります。

(1) コンピューターとのUSB接続口

スキャナー制御用USBは、付属のシリアルケーブルを使ってコンピューターに接続してください。

(2) 電源ポート

スキャナーの電源ポートは、付属の電源ケーブルを使って電源に接続してください。

(3) ヒューズホルダー

ヒューズの交換については10章を参照してください。

(4) スキャナー電源のオン/オフスイッチ

スキャナーのオン/オフを切り替えるスイッチです。

⚠ **重要)**

■ ヒューズホルダーを開く際は、必ず電源ケーブルを抜いてください。

■ 電源/電圧の選択を間違えると、装置の損傷および火災の恐れがあります。

6. セットアップ

スキャナーは100–240 VACの電圧で動作します。

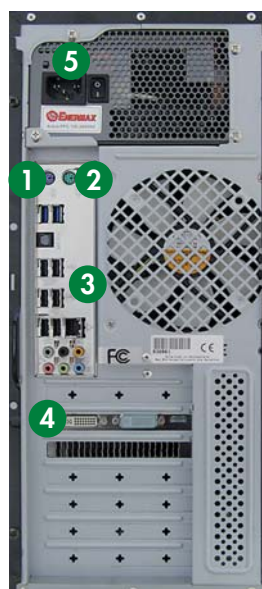
装置の配置/セットアップ

■ プラグのすべての接続口は簡単に手が届く状態にしておいてください。

6.1 スキャナーの開梱

スキャナーの開梱時には、個々のコンポーネント（緩衝材）を取り外します。後でスキャナーを輸送する場合に備えて、緩衝材は安全な場所に保管してください。個々の緩衝材については12章を参照してください。

6.2 コンピューターとモニターのセットアップ

1. コンピューター背面にある指定のポートにキーボードのプラグ（できればPS/2コネクター）を差し込みます。
2. コンピューター背面にある指定のポートにマウスのプラグ（できればPS/2コネクター）を差し込みます。
3. コンピューター背面にある指定のポート（USB）にスキャナーのプラグを差し込みます。
4. コンピューター背面の指定のポートにモニターの信号ケーブル（付属のDVIケーブル）を差し込みます。
5. 付属の電源ケーブルでコンピューターをコンセントに接続します。

6.3 スキャナーのセットアップ

以下の手順でスキャナーをセットアップしてください（右図参照）。

1. スキャナーの電源を入れる前に、スキャナーの右側にある輸送ロックと背面にある2つの輸送ロックを外します。

重要 ： 使用する前に輸送ロックを外してください。

輸送ロック ： スキャナーの側面に1個

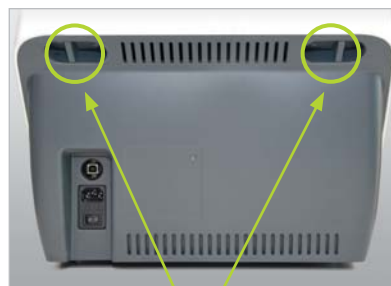
このマークはスキャナーがロック位置にあることを示します。

2. 付属のUSBケーブルを使ってスキャナーをコンピューターに接続します（コンピューター背面のポート3に差し込みます）。
3. 付属の電源ケーブルでコンピューターをコンセントに接続します。

輸送ロック ： スキャナーの背面に2個

スキャナーの接続および操作部に関する詳細は5章を参照してください。

重要）

スキャナーは安定した平らな面に設置してください。スキャナーの作動中に、外部からの振動がスキャナーに影響を及ぼすことがないようにしてください。スキャン対象物やその他の物体がスキャナー内で紛失した場合は、操作を中断してください。

7. 操作開始

マニュアルに従ってすべてのコンポーネントを接続し、Straumann® CARES® Scan CS2、コンピューター、モニターの電源を入れます。電源を入れると、スキャナーの左（緑）のLEDが点灯します。スキャナーはまだ作動していないため、右のLEDは点灯しません。

スタート画面で登録/ログインすると、スキャナーが作動可能な状態になります。詳細は、ソフトウェアユーザーマニュアルを参覧ください。

7.1 my.Straumann® CARES® Desktop

Straumannのユーザーとして、my.Straumann® CARES® Desktopのデフォルトのオプションが作動しています。事前の設定により、サーバーとクライアントが自動的に起動し、my.Straumann® CARES® Desktopにつながります。ここにはStraumannのアプリケーションの選択画面が含まれています。

8. インターネット接続の設定

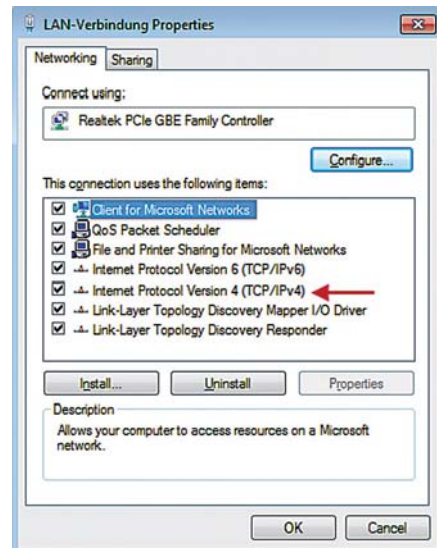
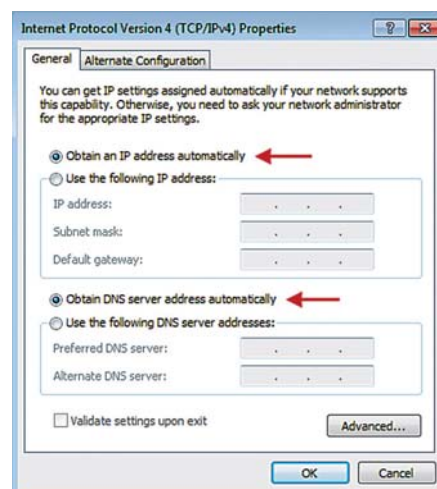
納品前に特別なシステム構成をリクエストしない限り、システムはDHCP経由の接続に初期設定されています。

8.1 インターネット接続の構成

インターネットに接続するためには、コンピューター背面のネットワークカードをネットワークケーブル経由でルーターに接続する必要があります。構成およびルーターへの接続設定に関する情報は、操作マニュアルをご覧いただくか当社までお問い合わせください。

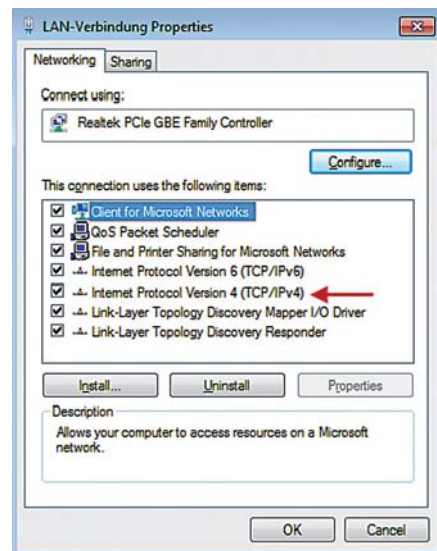
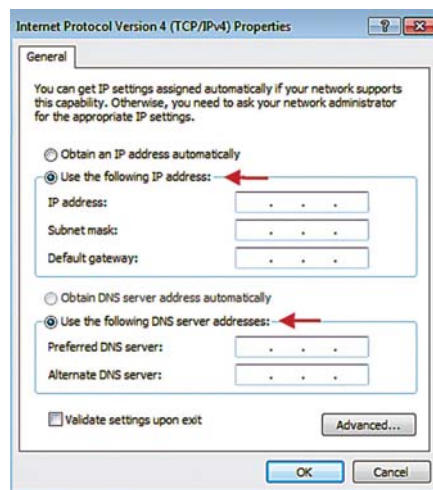
8.2 動的IPアドレス（DHCP）によるインターネット接続の構成

1. Windows OSにログインします。
2. 「**Start**（スタート）」ボタンをクリックします。
3. 検索フィールドに「**Network connection**（ネットワーク接続）」と入力し、「**Show Network connections**（ネットワーク接続の表示）」をクリックします。
4. 「**Local Area Connection**（LAN接続）」を右クリックして、「**Properties**（プロパティ）」を選択します。

5. マウスの左キーで「**Internet Protocol(TCP/IPv4)**（インターネットプロトコール）」を選択して、「**Properties**（プロパティ）」をクリックします。

6. 「**Obtain an IP address automatically**（IPアドレスを自動的に取得）」と「**Obtain DNS server address automatically**（DNSサーバーアドレスを自動的に取得）」を両方選びます。

7. 「**OK**」をクリックします。
8. インターネットエクスプローラーを立ち上げて接続を確認します。ホームページが表示されれば、コンピューターはインターネットに接続されています。

8.3 固定IPアドレスによるインターネット接続の構成

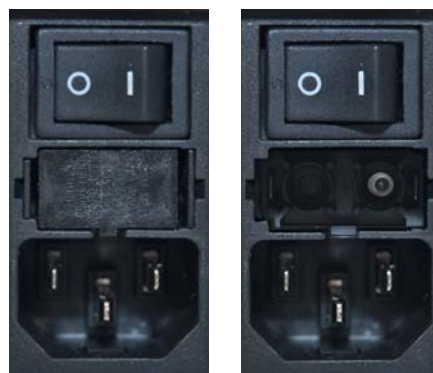
1. Windows OSにログインします。
2. 「**Start**(スタート)」ボタンをクリックします。
3. 検索フィールドに「**Network connection**(ネットワーク接続)」と入力し、「**Show Network connections**(ネットワーク接続の表示)」をクリックします。
4. 「**Local Area Connection**(LAN接続)」を右クリックして、「**Properties**(プロパティ)」を選択します。

5. マウスの左キーで「**Internet Protocol(TCP/IPv4)**(インターネットプロトコール)」を選択して、「**Properties**(プロパティ)」をクリックします。

6. 「**Use the following IP address**(以下のIPアドレスを使う)」と「**Use the following DNS server addresses**(以下のDNSサーバーアドレスを使う)」の両方を選びます。

7. 両方のフィールドに有効なIPアドレスを入力します。
8. 「**OK**」をクリックします。
9. インターネットエクスプローラーを立ち上げて接続を確認します。ホームページが表示されれば、コンピューターはインターネットに接続されています。

9. トラブルシューティング

エラーの原因や対処法については、『ユーザーマニュアル Straumann® CARES® Visual 6』および『Straumann® CARES® Visual 7.0』クイックリファレンスガイドを参照してください。

10. ヒューズの交換

必要に応じて、適切なドライバーでヒューズホルダーを取り外し、該当するヒューズを交換します（5 x 20mm、2.0AT 250VAC IEC 60127-2 SS 3規格適合）。

11. 掃除に関する注意

以下は、スキャナー、標準的なPCハウジング、プラスチック製ハウジング、表面にプラスチックを被覆したLCDモニターを対象とした推奨事項です。

スキャナーの掃除

■ スキャナー外側の掃除には湿らせたタオルを使用してください。その際には、必ずスキャナーの電源ケーブルを抜いてください。

■ スキャナー内側の掃除には乾いたタオルを使用してください。内側の掃除には、濡らしたり湿らせたタオルは使用しないでください。圧縮空気で内側を掃除しないでください。

水気を使ったモニターの掃除

■ 水気を使って電気装置を掃除する場合は、必ず装置のスイッチを切り電源ケーブルを抜いてください。掃除の後は装置を乾燥させてください。

■ シンナー、研磨液、ワックス、石油、アルコール、スプレークリーナー、酸、アルカリなどの強い洗剤は使用しないでください。 また、磨きスポンジなど硬くて粗い掃除用品は使用しないでください。画面のコーティングが損なわれます。

■ 掃除には湿らせた布を使ってください（マイクロファイバー布巾を推奨）。デリケートな電子部品に水がかからないように、布の水気はよく絞ってください。画面の表面は、コーティングを剥がさないように注意して掃除してください。

■ 特殊な画面クリーナーを使う場合は装置に直接ふきかけるのではなく、一度布にスプレーして使ってください。ミストの細かい粒子がデリケートなコンポーネントにかかる恐れがあります。ペーパータオルで画面の表面を拭かないよう注意してください。表面に疵がつく恐れがあります。

キーボード

- キーボードを掃除する際は、コンピューターのスイッチを切る、またはコンピューターから外しておこなってください。
- キーに隙間に入った埃や粒子は柔らかく乾燥した繊維の長いブラシで取り出せます。圧縮空気の利用が適しています。冷風が出るヘアドライヤーも利用できます。
- キーの汚れや油染みは少し湿らせた布を使って取ります。キーボードに水気が入らないように注意してください。 内臓の電子機器の損傷やPCへのデータ送信エラーにつながる恐れがあります。不安な場合はキーボードを乾燥させるか、暖かい（高温ではない）空気で乾かしてください。

コンピューター内部の埃

以下は、スキャナー、標準的なPCハウジング、プラスチック製ハウジング、表面にプラスチックを被覆したLCDモニター対象とした推奨事項です。

重要）
PCハウジングを開く際は、必ず事前に当社までご連絡ください。ハウジングを開く際には登録が必要になります。登録がない場合、保証は無効になります。

重要）
コンピューターを電源に接続した状態でハウジングを開かないでください。火災や感電の恐れがあります。

12. 輸送の準備（スキャナーの梱包）

⚠ **重要）**
安全に輸送するにはスキャナーを停止位置にしてロックする必要があります（実際の梱包は以下の図と異なる場合があります）。

1. スキャナーを停止するには、ソフトウェアを開きタスクラインの「**Scanner**（スキャナー）」を選択します。「**Scanner in parking position**（スキャナーを停止位置に設定）」をクリックします。スキャナーが輸送用の停止位置で停止します。

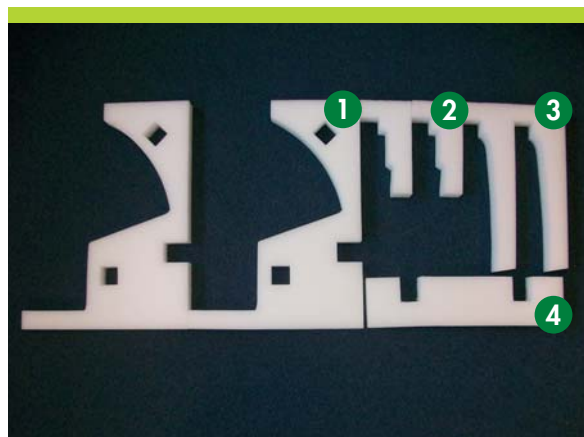
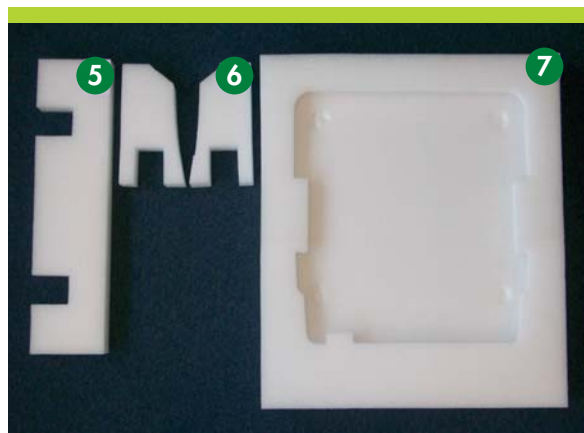
2. スキャナーの右側にある輸送ロック1つと背面にある2つのロックでスキャナーをロックします（6章3の説明と正しいロック位置を示す記号を参照してください）。

輸送用緩衝材

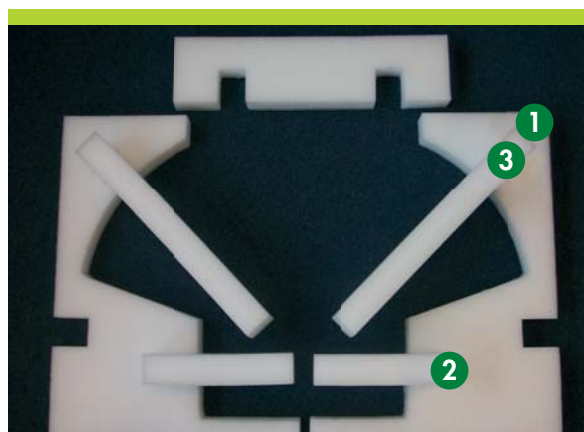
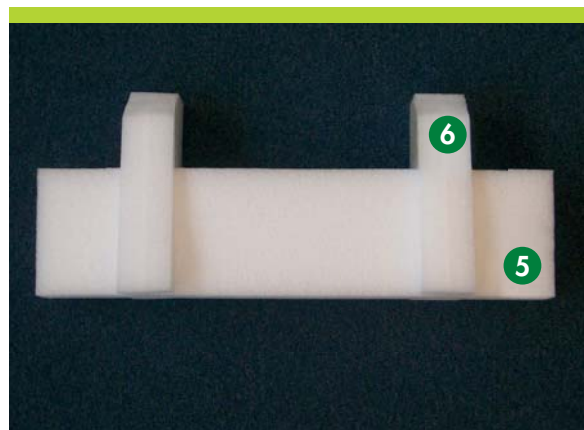
スキャナーを安全に輸送するには、元の緩衝材を使用する必要があります。

Straumann® CARES® Scan CS2 ー 梱包方法

Straumann® CARES® Scan CS2用輸送箱

緩衝材番号 ❶～❸（❷は左側用と右側用に計2つ）と緩衝材番号❹（上部用）。この図ではわかりやすいように番号をつけていますが、実際の緩衝材には番号はついていません。

箱の底面用の緩衝材（番号❺～❼）。この図ではわかりやすいように番号をつけていますが、実際の緩衝材には番号はついていません。

梱包手順

以下の手順に従って、スキャナーを梱包してください。

1. 右の図に示すように、緩衝材 ❷と ❸を ❶に差し込みます。

2. 緩衝材❻を❺に差し込みます。

3. 右の図に示すように、緩衝材 ❼を箱の底に置きます。

4. 緩衝材❺ と❻ を（手順2で組み合わせた状態で）、保護のために
箱の背面に差し込みます。

5. スキャナーを慎重に箱に入れます。

6. スキャナーを保護用プラスチック包装材で覆います。

7. 緩衝材❶～❸を（手順1で組み合わせた状態で）配置します。

8. 右の図に示すように、緩衝材 ❹を乗せます。

9. 箱の蓋を閉じてテープで留めます。最初の納品時に使用した荷台、または利用する運送業者から提供された荷台の上に箱を乗せます。

13. テクニカルデータ

テクニカルデータ

型名：　CARES® Scan CS2
接続口：　USB2.0高速/電源
電源：　100 – 240VAC 50 – 60Hz
定格電源入力：　900mA
レーザー保護クラス：　クラス1、1M
IP 保護：　IP20

– レーザー光断面法によって歯型・顎模型をスキャンする10本の可動軸

スキャン時間

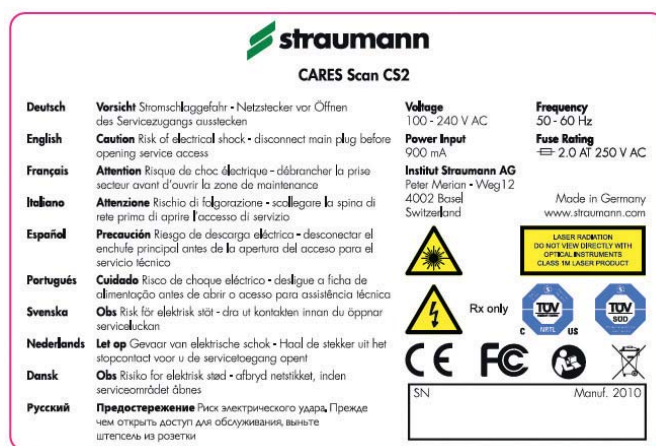
単冠：　25～45秒（Smartscan）
顎模型：　20～90秒（Smartscan）
スキャン方法：　複数のスキャン角度（35° – 75°）での支台歯および顎模型の自動スキャン

その他の情報

重量：　15.2kg
汚染度：　汚染度2（実験室環境）
高度：　推奨高度2,000m（6,600フィート未満）
環境：　推奨温度15° – 35℃（59 – 95°F）、湿度（5° – 60°）
理論測定フィールド　幅：16mm
　高さ：最高42mm
支台歯の高さ：　最大22.3mm
顎模型の高さ：　30mm（プレパレーション共有）
レーザー分類：　1M
測定誤差：　±10μm（ポットオブジェクト）

シリアル番号の構造

SN= ABBBBCCCC:

A = スキャナーの世代
B = 製造年
C = スキャナー番号
220101001の意味：　第2世代のスキャナー、2010年製造、スキャナー番号は1001

Tested according to IEC 60825-1（TÜV）, Standard：2007

14. マーク表記

アースを取り付ける

レーザ放射の警告を示す（製品のレーザ照射口付近に表示される）
レーザ製品からの被ばく放射に伴って危険が生じる可能性がある

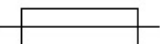
光学機器でレーザ光を直視しないこと
クラス1M レーザ製品

危険電圧を示す
付属の取扱説明書・添付文書に従わない場合、感電の恐れがある

SN

シリアル番号

REF

製品番号

ヒューズ

取扱説明書を参照

一般廃棄物と分別して地域の規則に従い廃棄処理すること

US連邦法により、この機器の販売は許可された医師に対してのみ、
または許可された医師の指導の下で行うように規制されています

ワレモノ注意（製品の保護包装に表示される）
取り扱いに注意が必要なことを示す

水濡れ厳禁（製品の保護包装に表示される）

方向注意（製品の保護包装に表示される）
矢印の向きが上面となるように取り扱うことを示す